

令和8年度 国見町立学校の教職員働き方改革アクションプラン

教育理念

小さな町が、子どもとともに未来をつくる。 ～町全体で子どもを育てる～ 令和8年3月 国見町教育委員会

背景

子どもを取り巻く環境の変化や学びの多様化が進む中、教育現場には、授業改善や個別支援、ICTの効果的な活用、地域との連携など、より高度で複合的な役割が求められている。教職員一人ひとりの献身や努力に依存するのではなく、業務の整理や役割分担の明確化、組織的な支援体制の構築を通して、教育の質と働く環境の両立を図っていくことが重要である。

現状

【国見町立学校の令和6年度の時間外在校等時間の状況】

	年平均	月45時間を 上回る割合	月80時間を 上回る割合
小学校	月 30.53 時間	4.35 %	0.00 %
中学校	月 47.08 時間	68.75 %	6.25 %

目的

- ① 質の高い授業をするために授業の準備や自己研さんのための時間の確保
- ② 子どもと向き合う時間の確保
- ③ 仕事と私生活の両立

子どもたちと教職員のWell-beingの実現

働きやすさ

働きがい

質の高い授業実践

学びの変革（授業改善）

学校の在り方の変革（業務改善）

目標

1 時間外在校等時間に関する目標

- ① 全教職員の時間外在校等時間を、月45時間以内かつ年360時間以内にする。
- ② 月80時間を超える時間外在校等時間が生じない体制を恒常的に維持する。

2 ワーク・ライフ・バランス及び働きがいに関する目標

- ① 教職員の年次有休休暇の平均取得日数を、年間15日以上とする。
- ② ストレスチェックの実施率を100%とする。
- ③ 教職員アンケートにおいて、「仕事にやりがいを感じている」と回答する割合80%以上かつ前年度比で向上を目指す。
- ④ 質の高い授業をするために、「授業の準備や自己研さんのための時間を確保できている」と感じている教職員の割合80%以上かつ前年度比で向上を目指す。

取組内容

～子どもたちと教職員のための10のチャレンジ！～

- 1 小学校に「地域学校協働活動連携室」を開設（保護者や地域ボランティア等の参画推進）
- 2 苦情や相談窓口の開設と相談体制の構築
- 3 学校徴収金の徴収・管理（公会計化）
- 4 ICTのさらなる活用（ネットワーク環境の整備・ICT支援員配置による教員サポート・LINEスクール連絡帳活用等）
- 5 校内（トイレ）清掃外部委託（月2回程度）
- 6 部活動指導の負担軽減（地域展開の種目拡充）
- 7 チーム学校の構築（SSS、SSW、特別支援教育支援員等の配置）
- 8 時差出勤制度の導入（学年全体で児童生徒を見守る体制の構築）
- 9 授業の質的改善（子どもを主語にした授業づくりの推進）
- 10 各学校の取組への伴走支援